

第7回グリーンボンドの資金充当状況および環境改善効果について

2026年6月26日

東京電力リニューアブルパワー株式会社

【資金使途】

2024年度および2025年度の再生可能エネルギー(水力・風力・太陽光・地熱)の開発、建設、運営、改修に関する事業への新規支出およびリファイナンス

【資金充当状況】

東京電力リニューアブルパワー グリーンボンド		第7回債 2026/2 発行	合計
調達金額 ^{※1}		199億円	199億円
充当金額		199億円	199億円
リファイナンス金額		199億円	199億円
未充当金額		0億円	0億円
充当対象 事業	水力発電所 ^{※2}	1件	3件
	風力発電所 ^{※3}	1件	
	地熱発電所 ^{※4}	1件	

※1 調達金額は、本社債発行額から発行諸費用を除いた手取金額
(千万円単位以下は切り捨て表示)

※2 国内水力発電所のリパワリング

※3 海外再生可能エネルギー事業会社への出資

※4 地熱発電事業会社への出資

上記には、一部設備更新に係る補助的な支出を含む

【環境改善効果】

	第7回債
種別	水力、風力、地熱(海外含む)
設備容量	1MW
CO ₂ 排出削減効果 ^{※5※6}	1,998t-CO ₂ /y

※5 年間発電量 × CO₂排出係数^{※7} (対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日)

※6 2026年3月31日時点で運転開始をしていない発電所の環境改善効果は織り込んでいないが、今後の開発を通じて追加的な環境改善効果を生むことを想定

種別	風力(洋上)	地熱
所在	欧州	国内
設備容量	2,010MW	14.99MW

※7 国内発電所：電気事業低炭素社会協議会 CO₂排出実績

海外発電所：独立行政法人国際協力機構 気候変動対策支援ツール
(JICA Climate-FIT) 各国別 CO₂排出係数

【その他】

- ・2021年8月に策定したグリーンボンド・フレームワークについて、2023年9月にグリーンファイナンス・フレームワークへの改定を実施
- ・本レポートにおける資金使途の記載はグリーンファイナンス・フレームワークの資金使途に準じて掲載

以 上